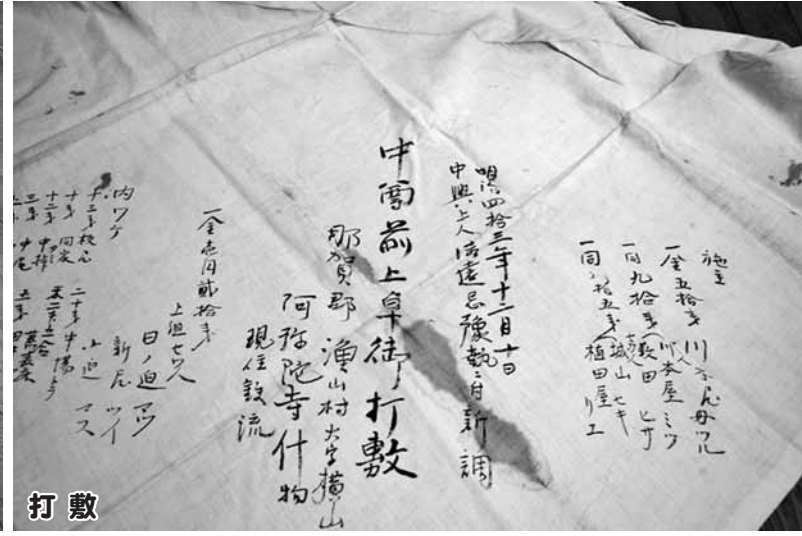


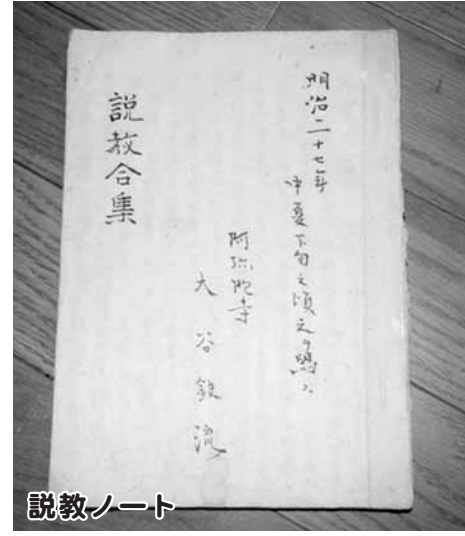
長生きをせんとて酒を断ちし父 母逝きてより

10周年+1阿弥陀寺あれこれ (宝物?の巻)

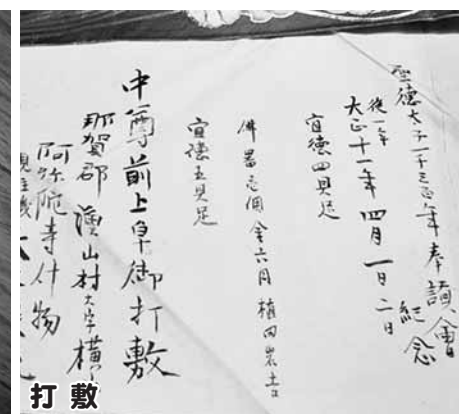
本堂建立、仏具を揃えるに至った村の方々の苦勞が記されています。当時の方が抱いた仏教への思い、そして教えを聞く場を求めた足跡です。



打敷



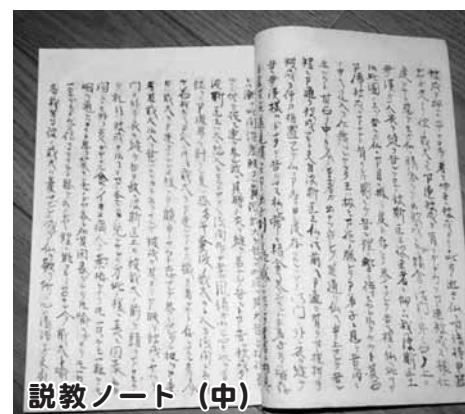
説教ノート



打敷



説教ノート



説教ノート (中)

断ちし父 母逝きてより

友田 哲郎



私の父は若い頃から、日本酒が大好きでした。毎日欠かさず晩酌をし、いざ宴会となると一升酒もたびたび。でも、とても楽しい酒飲みで、歌って踊っての陽気なスーパースターでした。最後は意識が無くなるまで飲んで、部屋まで母親が引きずっていく始末。

素面の父は、とても真面目で勤勉。酔った父を初めて見た人は、啞然としたそうです。父にとってお酒は有効なストレス解消だったのでしょうか。

そんな父が、母が大腸癌を患って闘病生活を始めるや否や、大好きだった酒をきっぱりと辞めたのです。看病のため、自分が先に死んではいけません。

父は今年3月で97歳。頑張って生きています。

いと決心したのです。それから数年後、最愛の妻が亡くなると、父はまた酒を飲み始めました。冒頭の短歌はその事を詠んだものです。それまで私は短歌を詠んだことはなかったのです。

試しに熊日新聞に投稿したところ、伊藤一彦先生選の一席に選ばれました。父はとても喜び、母の一周忌にこの歌を拡大コピーし、参列者全員に配りました。

父は今年3月で97歳。頑張って生きています。

Off・beat

皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。社会保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思えます。どうぞお付き合ひお願いします。



友とたわむれる筆者 (右)

『**謙畏一洛中日記**』
釋芳隆(大谷隆) 第2回

先日、京都の鴨川で鹿が出ました。人目を気にせず、川のほとりをゆったりと歩く微笑ましい様子が報道されました。鴨川の下流で鹿が見つかるのは二年ぶりのこととです。いったいこの鹿は何を思い、久しぶりの京都を訪れたのでしょうか。

この報道を耳にしたとき、ここ一年、思い切つて外出することができなかった私は「もうすぐ夏か」と、なんとなく季節の到来を知らされたのでした。

思い返せば、去年から続くコロナ禍で、ステイホームが日常化したせいとか、四季の変化を肌で感じるものが少なくなつていたように思えます。夏といえば、青い海や入道に完備されていたといえます。また、一般家庭にはペチカという暖炉がありました。満州は冬の気温がマイナス35度まで冷え込んだそうです。しかし、ペチカが家中を温めることで、浴衣一枚で過ごせたそうです。満州は現代の日本と比べても遜色ないほどの暮らしが送られていたのです。

しかし、その方が小学五年生のときです。終戦

雲といった自然を肌で感じられる特別な時間です。今日、我々はコロナと共に生きるなかで、四季に感じられる大切な時間を忘れて過ごしていたかもしれません。

もしかすると、鴨川に現れた鹿は、そのような我々を心配して、夏のおとずれを届けにきたのではないのでしょうか。

今年こそは、夏を思い切り感じたいものです。

『**肥後山中藤栗毛**』
釋智明(川村智明) 第13回

先日ご門徒の方から、満州国で幼少期を過ごされたお話を聞かせていただきました。戦前の満州の暮らしは大変すばらしいことと聞いています。

なぜなら、世界的にも進んだ技術があったからです。当時ではまだ珍しいエレベーターやエスカレーターがデパートなど

後のソ連の侵攻により、住み慣れた満州から引き揚げを余儀なくされました。

日本へは、満州から屋根のない貨車に詰め込まれて港まで行き、駆逐艦に乗せられてきたといえます。その移動の中、周りの大人が泣く声や姿を見て、敗戦国の人間だという自覚と悲しみに襲われたとおっしゃっていました。

『**御修行奮闘記**』
釋博真(柳原真人) 第34回

先日、お勤めが終わわり、お茶をいただいている時ふと部屋の柱に目にとまりました。そこには「茶」と書かれた紙が逆さまに貼ってありました。気づけば部屋中に貼ってあります。初めて見るその文字に、どんな意味があるのだろうと疑問を持ちました。

調べてみると、なんとムカデが家に入らなくなるおまじないだったのです。ムカデはお茶の匂いが嫌いらしく、逆さまの字は茶の葉を散らすこと

生書道教室

指導者 生 春翠・勝弘

〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10 電話 096-369-1138

成人部
漢字/臨書/かな/ペン/くらしの書 (実用書道)

生徒部
幼児・小中学生
各学年 (毛筆・硬筆)

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 30万円より
他のプランもごさいます。以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

想送の木山葬儀社

お問い合わせは! (24時間)
益城町宮園 547-3 096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.com

阿弥陀寺10周年+1法要

同封の別紙にて、日程をご案内しておりますのでご覧いただけます。本堂内の座席は、間隔を置き、換気を行いながら法要を進行いたします。手の消毒液、マスクは準備いたします。予定してました懇親会は中止にいたします。

記念品を用意してお参りをお待ちしています。

お盆参りのお知らせ

コロナ禍で先ばかりが気になりますが、対策をして過去を振り返り、ご先祖に思いを馳せましょう。

日時、場所が決まりましたら、ご連絡をお願いいたします。

※葬儀、法事、納骨、またはそれ以外のご相談、どなたでもご連絡をいただければ対応いたします。

法話の会

日時・7月25日(日) 午後2時から4時

法話・川村智明 (阿弥陀寺)

栃原真人 (阿弥陀寺)

大谷義文 (阿弥陀寺)

※参加費は無料です。途中参加、途中退席、気になさらず。



図書紹介



『見えないものを 探す旅』

旅と能と古典

安田登 著

発行所 亜紀書房

定価 1500円+税

旅が好きです。

学生時代は、高尾山から富士山までを何度も歩いて往復しました。そのまま足を伸ばして関西ま

猫伏石の声

お寺の東側は、広い畑でした。ご高齢のおじさんは、真夏でも早朝から草刈り機を持ちます。そして刈った草をせっせと運ぶおばさん。時折、ふたり土手に座ってお茶を飲む姿を見かけました。そこが造成され13区画の分譲地に。景色も変わっていくものです。



で歩いたこともあります。故郷、銚子(千葉県)へも、東京から歩いて帰省しました。

中国やチベットを放浪していたときは、大きな都市と都市との移動は列車やバスを使いしましたが、隣の町までは歩いて移動しました。(中略)交通機関を使って点と点を結ぶ「旅行」よりも、道を塗りつぶすようにして、たらたら、たらたら歩く「旅」が好きなのです。旅はその途中で「なにか」と出会うからです。

本書「はじめに」から ※阿弥陀寺で販売しています。

葬儀・祭壇

ハタオ葬儀社

水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3
TEL.096-364-3220

熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社

しみず会館

熊本市北区清水新地7丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭

豊住葬祭斎場

熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848